

<概要/Course Content Summary >

本科目の目的は、リーダーシップは開発できるという前提に立ち、組織的成果をあげるのに必要なリーダーシップを開発することである。本科目では、まずリーダーシップについて、これまでの研究成果を中心に理論的支柱を学ぶ。次に、自らのリーダーシップスタイルについて洞察を深める。最後に、リーダーが直面する問題を扱った典型的なケースについてディスカッションすることによって、リーダーとして多面的に状況を理解し、それに基づいた実行への道筋をつけるリーダーシップの実践力を高める。なお、取り上げるケースのテーマ、ケース分析の鍵となる問いについては、事前に受講生に知らせる。

<到達目標/Goals,Aims >

これまでのリーダーシップについての学術的研究のうち実務への適用性が高く重要な概念知識を習得し、それぞれの状況における課題の発見と解決に活かすことができる

自分のリーダーシップスタイルについて洞察を深め、今後のリーダーシップ開発に活かすことができる

ケース分析とディスカッションによって、受講生の日常とは異なるリーダーシップ状況を疑似体験し、自分がリーダーであればどう考えどう行動して組織成果をあげていくかを考えることで、自らのリーダーシップの幅とレベルを高めることができる

<授業計画/Schedule >

(実施回 / (内容/Contents)

(授業時間外の学習/Assignments)

Week)

1	学習目標、日程、学習方法、課題の提出、ケーススタディの方法、ケースディスカッションの方法について説明する 各受講生の現在の立場、リーダーシップを発揮する状況、リーダーシップ開発課題について情報を共有する	各受講生は、1000字から2000字以内で①これまでの経歴、②現在の立場、③その中でリーダーシップを発揮する状況(典型的な場面2つ)、④講義で何を学びどう今後のリーダーシップ開発に役立てたいか、⑤これまで一緒に働いた人のなかであるいは歴史上の人物の中でリーダーシップがあると目する人物を選びなぜそう思うかの理由、をまとめ、第一回講義の1週間前までに講師のメールアドレスまで送付する
2	リーダーシップの基本的な概念について理解する リーダーシップの定義、および主たる研究成果を展望する	『リーダーシップ理論集中講義』を読了してリーダーシップについてのこれまでの理論のあらましをざっくりと頭に入れておく
3	第2回講義の続き	第2回続き
4	マネージャーが直面する様々な課題について洞察を深める	『マネージャーの教科書』を全て読了しておく。加えて、割り当てられた章について10分程度のプレゼンテーションにまとめておく(当日発表してもらう)
5	第4回講義の続き リーダーシップコンピテンシーについて理解する	第4回続き 『コンピテンシーマネジメントの展開』第16章(管理者)を読んでおく
6	リーダーシップスタイルディスカッション 自分のリーダーシップスタイルと知るツールのバリエーション 自分のリーダーシップスタイルの強み弱みについて洞察を深める 自分のリーダーシップ発揮の目標を明確にし、自らの能力開発計画を立てる	ストレングスリーダーシップを実施し各自の強みについて理解を深めておく、また部下やチームメンバーがいる受講生は、彼らの強みは何か思い巡らせておく 各自自分の所属する組織にリーダーシップコンピテンシーがあれば取得し、組織が求めるリーダーシップのあり方について組織の歴史、現状と現在の課題との関連で説明ができるようにしておく

コンピテンシーフレームワークが設定されていない場合は、インターネットによるサーチを行い、興味のある組織のリーダーシップコンピテンシーを取得し、その組織の置かれている状況と課題との関連で説明できるようにする

7	ディスカッション『12人の怒れる男』	本映画を予め閲覧しておく必要はない
8	議論のまとめ 各自による振り返り（振り返りシートの記入と提出）	議論を振り返り、テーマについて洞察を深める
9	ケースディスカッション『GEのタレントマシン：CEOを作る』	各自、当該ケースを分析し、事前に提示した設問をあらかじめ考えておき、ディスカッションに備える 詳細については第1回の講義で説明する
10	議論のまとめ 各自による振り返り（振り返りシートの記入と提出）	議論を振り返り、テーマについて洞察を深める
11	ケースディスカッション『エヴェレストー1996年の出来事』	各自、当該ケースを分析し、事前に提示した設問をあらかじめ考えておき、ディスカッションに備える 詳細については第1回の講義で説明する
12	議論のまとめ 各自による振り返り（振り返りシートの記入と提出）	議論を振り返り、テーマについて洞察を深める
13	ケースディスカッション『再建プロデューサー 村井勉 東洋工業、アサヒビール、JR西日本』	各自、当該ケースを分析し、事前に提示した設問をあらかじめ考えておき、ディスカッションに備える 詳細については第1回の講義で説明する
14	議論のまとめ 各自による振り返り（振り返りシートの記入と提出） 全体のまとめ 最終講義についての注意事項	議論を振り返り、テーマについて洞察を深める
15	授業内評価（提示されたケースを各自が分析する）	

ケースは変更されるまた、取り扱うケース数を増やす可能性があるため、授業での指示に従うこと。
受講者と相談の結果、授業計画を変更する可能性もある。

<成績評価基準/Evaluation Criteria >

平常点(出席, クラス参加, グループ作業の成果等) 10%

出席回数

クラスへの貢献度 30%

他の受講生へのアドバイス, ケースディスカッションへの積極的な貢献度として, 発言回数, 議論の発展と深化への貢献により評価する

提出物 30%

出物における理解の深さに基づいた内容の明瞭さ, 説明の分かりやすさ(論理性, 説得性)により評価する

授業内評価 30%

日配布されたケース分析を時間内(90分)に行う。問題の特定の適切性, 分析および洞察の深さ, 意思決定の論理性, 必要なアクションの合理性, 説得性により評価する

◆担当部分についてのプレゼンテーションを行った場合, ボーナスポイントとして評価する。詳細については授業にて説明する。

<テキスト/Textbook >

小野善生『リーダーシップ理論集中講義』(日本実業出版社, 2013年)

トム・ラス&バリー・コンチー『ストレングスリーダーシップーさあ, リーダーの才能に目覚めようー』(日本経済新聞社, 2013年)

ハーバード・ビジネスレビュー編集部『マネージャーの教科書』(ダイヤモンド社, 2017年)

<参考文献/Reference Book >

ウィリアム・エレット『入門ケースメソッド学習法ー世界のビジネススクールで採用されているー』(ダイヤモンド社, 2010年), ケーススタディの分析の肝要を学びたい受講生に勧める

金井壽宏『仕事で「一皮むける」』(光文社, 2002年), リーダーシップ向上のための経験について学びたい受講生に勧める

ダニエル・ピンク『モチベーション3.0ー持続する「やる気!」をいかに引き出すかー』(株式会社 講談社, 2015年),

チームのモチベーション向上について知りたい人に勧める

ライル・スペンサー，シグネ・スペンサー『コンピテンシーマネジメントの展開－導入，構築，活用－』（生産性出版，2001年），コンピテンシーの活用についてより詳しく知りたい受講生に勧める。

2011年出版の完訳版は入手可能であるが，2001年の簡易版は入手できなくなっている。2001年版を読みたい受講生は中古品を入手するか，図書館で借りること

講義の中で使用する第16章（管理者）について，書籍を購入しない受講生は，各自図書館等を利用するなどしてコピーを入手しておくこと

その他必要な資料は適宜配布する